

## JSA学術体制部合同シンポジウム

# “高等教育と科学・技術の真の発展のために”

今日の悪政と国立の大学や研究機関の法人化で、学術と教育および研究者をめぐる情勢はかつてなく厳しいものになっています。民間では早くから研究部門も含めて成果主義が導入され、研究者や技術者の協力関係や後継者の育成が阻害されていることが指摘されてきました。これに加えて、法人化後の国立大学や研究機関には”競争による効率化と活性化”を目的に、基盤的経費の削減、評価と競争原理の導入、トップダウンの強化、特定技術関連部門への重点投資が導入され、学術と教育の総合的な発展や平和と福祉への貢献の基盤が危うくなり、教職員・学生・院生にとっても働き学ぶ環境が悪化しているとの指摘が少なくありません。

このような時期に、JSA 学術体制部に所属する7つの委員会（科学・技術政策、科学者の権利問題、大学問題、国公立試験研究機関問題、民間企業技術者・研究者問題、若手研究者問題、女性研究者技術者問題）が協力して、標記のシンポジウムを開催します。この中で、教育と科学・技術全般および各分野で現れている今日の科学・技術をめぐる危機的状況を明らかにし、科学者全体、各階層、分野、機関で取り組むべき課題や運動の方向について議論したいと考えています。総合討論において、JSA 各支部からの報告も歓迎します。会員外の方々も誘って、ぜひご参加下さい。

日 時：2008年1月26日（土）10:00～17:00

場 所：日本大学歯学部3号館2F第五講堂（JR御茶ノ水駅 徒歩2分・ニコライ堂隣）

参加費：500円（資料代）

### 報 告 午前の部 (10:20～12:00)

- ・明石 博行（駒澤大学）：「新自由主義下の科学・技術政策を問う」
- ・湯浅 精二（元大阪大学）：「研究者の権利問題と課題」

### 報 告 午後の部 (13:00～15:45)

- ・坂東 昌子（愛知大学）：「OD問題・ポスドク問題・・・女性研究者が15年先に学んだこと・・・」
- ・石渡 真理子（元東京大学）：「女性研究者・技術者の現状と課題ー『第12回女性研究者技術者全国シンポジウム』で学んだこと」
- ・細井 克彦（大阪市立大学）：「大学評価の手法と政府・財界の戦略」
- ・牛田 憲行（愛知教育大学）：「評価の実態と大学に迫られるもの」
- ・井村 治（畜産草地研究所）：「国公立研究機関の独法化の現状と問題点」
- ・長田 好弘（東京支部）：「研究開発現場でのたたかいのススメ～科学・技術の正しい発展と安全性のために～」
- ・酒井 士朗（東京支部）：「第3期科学技術基本計画とNTTの職場～研究者の権利擁護・要求の実現をめざして～」

### 総合討論 (16:00～17:00)

会員でなくても、どなたでも参加できます。お問い合わせは、下記にお願いします。

日本科学者会議全国事務局：Tel:03-3812-1472, Fax:03-3813-2363, E-mail:mail@jsa.gr.jp

主催 日本科学者会議学術体制部